

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

718

内川美化推進等交付金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	2	都市緑化・都市美化の推進
取組方針	3	都市美化の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		市民生活費	
	目		まち美化推進費	
	大事業		まち美化推進事業	
	中事業		内川美化推進等交付金事業	

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	自治振興課	清水出	435-1011
事業実施の根拠法令				関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	美しいまちづくり事業を推進するため、内川美化団体への交付金		美しいまちづくり事業を推進及び啓発に要する諸経費			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	和歌山市内川美化推進会交付金(和歌山市内川美化推進会)内川をきれいにする会交付金(内川をきれいにする会)	美しいまちづくり事業を推進するため、和歌山市内川美化推進会、内川をきれいにする会への交付金	美しいまちづくり事業を推進するため、和歌山市内川美化推進会、内川をきれいにする会への交付金	美しいまちづくり事業を推進するため、和歌山市内川美化推進会、内川をきれいにする会への交付金		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,677	3,677	3,705	4,108	4,061	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,677	3,677	3,705	4,108	4,061	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.46	0.46	0.46	0.51	0.51	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	内川美化推進交付金 1,225千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
内川一斉清掃参加人数		人	目標値	3000	3000	3000		
			実績値	1455	1350	0		
			達成度(%)	48.5%	45%	%	%	%
大門川(伊勢橋)水質環境基準達成度(環境基準: BOD=5mg/L)		%	目標値	5	5	5		
			実績値	5.3	4.2	5.5		
			達成度(%)	94.3%	119%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	内川をきれいにするため、内川5河川沿岸17地区住民及び化学工業協会や染色協会が参加しており、内川の現状把握や、市民の内川美化に対する意識の向上が図れる。令和2年度については内川一斉清掃はコロナ感染症の感染拡大のため中止とした。
見直し・改善内容	現在、各地区において、自主的に活動が実施されており、この活動を維持継続していくため、当面は現行の仕組みを継続していく